

I 理事長挨拶

地方独立行政法人岩手県工業技術センター
理事長 阿部 健



「がんばろう!岩手」
～技術で復興をお手伝いします～

企業の皆様には、日頃から岩手県工業技術センターをご利用頂きありがとうございます。
当センターでは、「創るよろこび・地域貢献」、そして「全ては地域の皆様と一緒に」を基本スタンスとして、また、独法化によって、皆様方への使いやすさへの向上とともに、各種研究と商品化に向けた積極的な取り組みの中で、地域企業の発展と県内産業の振興に努めて参りました。

そして、今年度は、センター内に「復興支援室」を設け、重点的に復興支援に向けた活動を展開することにしております。被災地の企業様からの技術的な課題から商品開発まで、広範囲にわたってご相談に応じております。どうぞ、どんなことでも結構ですので、お気軽にご相談頂ければと思います。

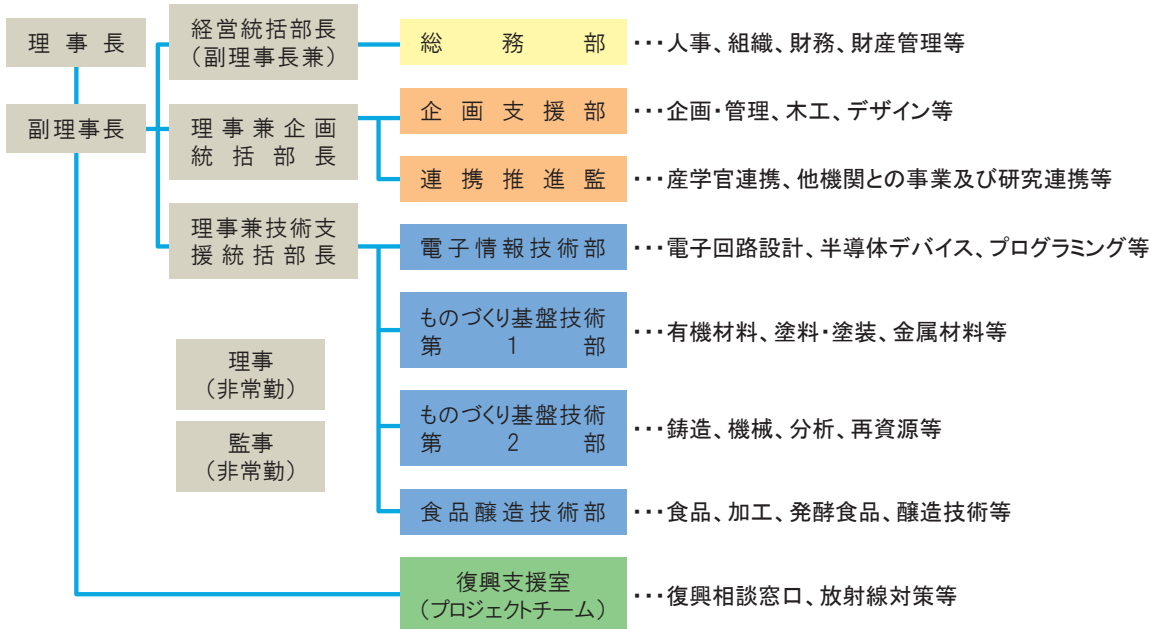
震災から1年数ヶ月が経ちました。今、岩手は、復興をひとつひとつ形にしていく、復興を目に見える形にしていく、そういった時であると思います。そして、岩手の産業をより強くし、全国に向かって岩手の技術を、岩手の商品を強力にアピールする時でもあると思います。

このような中、当センターとしても、ものづくりの分野から、環境、エネルギー、食品の分野など多方面にわたり、企業の皆様方のニーズに的確に沿いながら、また、企業の皆様との共同研究や共同開発にも多く取り組みながら、新しい付加価値の創造やマーケットの拡大、産業人材の育成などに努めて参ります。

今後とも、県民の皆様から信頼され必要とされるセンターを目指して、より一層の技術・研究資源の充実を図って参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

II 平成24年度組織の紹介

■組織図 復興支援室を新設しました。新たな体制のもと、職員一同皆様のご利用をお待ちしております。



復興相談専用ダイヤル:019-635-1119
通常のご相談は:019-635-1115

【目次】

| | | | |
|---------------------|----|-----------------------|----|
| I 理事長挨拶 | …1 | V 平成23年度の主な活動実績 | …3 |
| II 平成24年度組織の紹介 | …1 | VI 新規導入設備 | …6 |
| III 事業概要 | …2 | VII 新採用職員の紹介、定期人事異動情報 | …8 |
| IV 復興支援室(プロジェクトチーム) | …2 | VIII 併設機関の紹介 | …8 |

技術情報

岩手県工業技術センター
Iwate Industrial Research Institute

2012.6
No. 30

Ⅲ 事業概要

| 事業の種類 | | 内容 | 費用 |
|-------------|---------|---|------|
| 技術相談 | | 新技術の紹介、製品・原材料の分析や技術開発・製品開発資金など、技術に関する様々な問題についての相談に応じます。 | 無料 |
| 企業訪問 | | 企業等の現場に直接職員が伺い、技術的課題の調査・解決に向けた助言を行います。 | |
| 依頼・貸出 | 試験・加工 | 各種分析・計測を行い、その結果を成績書として発行します。 加工(デザイン加工含む)を行い、加工品をお渡します。 | 有料 |
| | 機器・施設貸出 | 所有機器(所外貸出含む)、試験室や会議室等を貸し出します。 | |
| 受託研究 | | 企業等の希望によりセンターが行う研究です。 | 有料 |
| 共同研究 | | 企業等の希望により、企業等とセンターが共同で行う研究です。 | 有料 |
| 研究員派遣 | | 企業等の開発・研究を加速的に進めるために、研究員を一定期間派遣します。 | 有料 |
| 研究開発型人材育成支援 | | 企業等の技術課題解決のために、企業等の技術者を受入れ、研究開発支援と人材育成を並行して行います。 | 有料 |
| デザイン制作 | | 企業等の希望により、デザイン制作を行います。なお、デザイン創作を伴わない場合は、デザイン加工にて対応します。 | 有料 |
| 人材育成 | | 職員を講師として派遣し、企業技術者等の育成を支援します。 | 個別対応 |
| 知財総合支援窓口 | | 発明協会と共同で、特許流通(技術移転等)に関する支援・相談対応、特許電子図書館検索や特許情報活用に関する支援・相談対応、特許情報活用セミナーの開催を行っています。 | 無料 |
| 復興支援メニュー | | 震災復興支援として、有料サービスメニューの料金を減免する場合があります。 県内の製造業者が生産する製品や食品等の放射線対策(相談・測定)に対応します。 | 個別対応 |

Ⅳ 復興支援室(プロジェクトチーム)

岩手県工業技術センターでは、「がんばろう！岩手～技術で復興をお手伝いします～」を合言葉に、組織を挙げて被災地の復興に向けた取り組みをお手伝いするため、センター内に復興支援室を設置し、4月から活動を開始しております。当センターの保有技術等を最大限活用し、皆様の復興に向けた取り組みを支援します。

復興相談専用ダイヤル
019-635-1119

復興支援業務

●被災地企業のニーズ調査、巡回訪問技術相談の実施(センター独自事業)

復興支援室職員が、被災地の企業様を訪問し、支援案件について相談させていただき、支援内容等を決め、専門の担当者により案件を解決し、お届けします。

- ①ニーズ発掘、調査のための企業訪問(年間200社程度を予定)
- ②研究員による訪問支援(年間350回程度を予定)

●物産・商品開発支援、流通・市場化支援(さんりく基金事業)

デザインボランティアネットワークを構築し、製品やパッケージ等のデザインを提供します。

また、首都圏で、製品の展示会、商談会を開催し、流通促進を支援します。

- ①県立産業技術短大、岩手大学等との連携
- ②被災地の製品(工業製品・食品等)の展示商談会の開催

●総合相談会の開催(さんりく基金事業)

振興局、市町村等と連携し、沿岸被災地域の4箇所(久慈、宮古、釜石、大船渡)でセンターの支援事業や活用法をPRするためのシーズ発表、総合相談会を開催します。

- ①支援事業の説明、シーズの発表
- ②技術相談の受付

放射線対策業務

●県内の工業製品や加工食品等の放射線の測定や放射線対策に関する相談に対応します。

○表面汚染測定

単位: μ Sv/h(マイクロシーベルトパーアワー)またはcpm(シーピーエム)
測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ、GM 型サーベイメータ
対象物: 工業製品または部品(1社5点以内)
料金: 無料(平成24年7月1日から有料)

○内部汚染測定

単位: Bq/kg(ベクレルパーキログラム)
核種: ヨウ素131、セシウム134、セシウム137、カリウム40
測定器: ゲルマニウム半導体検出器
対象物: 製品・部品・その原材料等
料金: 見積(概ね1.5万円～)

試料量および前処理:

- ・試料量は、原則として2L 必要です。100ml でも可能な場合もありますので、お問い合わせください。
- ・測定日前日までに持ち込み、または送付してください。
- ・前処理(細切、粉碎)については、別途ご相談ください。

○共通事項

対象者: 県内に住所を有する製造業者
測定日: 毎週火曜・木曜日(ご相談は随時承ります。)
成績書発行: 測定日から3日以内(土、日、祝日を除く)

- (1) 測定は予約制です。あらかじめご相談ください。
- (2) 測定できない場合があります。事前測定(スクリーニング)での測定値が 0.5μ Sv/h または1000cpm を超えた場合は、本測定は行いません。
- (3) 測定済み試料は返却します。
- (4) 測定の結果、国が定める基準値を超えた際、関係機関に情報を提供する場合があります。

V 平成23年度の主な活動実績

2011年度グッドデザイン賞を3件受賞しました

担当：企画支援部



[プロ・アルテ シリーズ]

グリルパン、キャセロール、深型鍋、楕円鍋
受賞企業：(株)岩鋳

盛岡商工会議所
岩手県工業技術センター

○審査員の評価コメント

伝統的な南部鉄器は鉄瓶に代表される和のイメージが大きい。

その技法を生かしつつ、新たな機能とデザインによってより幅広い需要拡大を狙った製品である。モダンでシンプルであるが、機能的な緩やかな波形の組合せが美しい。重量に若干課題は残るが、南部鉄器に新たな展開を期待させる。

食器 [てまる]

受賞企業：てまるプロジェクト
岩手県工業技術センター

○審査員の評価コメント

高齢者や障害者用の食器が、丁寧なリサーチから生れたやさしい型で食の機能がしっかりとまとめ上げられている。握力の弱い高齢者や障害者のために高台の上に設けられたくぼみが器の型の中に産地のロクロ技術で美しく仕上げられたデザインも素晴らしい。食器サイズも多様な介護食に対応出来るよう工夫されたバリエーション展開が出来ていて、色も木質色だけでなく食材が解りやすいように用意されているところも好評であった。

鑷子(ピンセット) [ヘキサゴン鑷子シリーズ]

受賞企業：(株)東光舎
岩手県工業技術センター

○審査員の評価コメント

顕微鏡下手術のためのピンセット。非常に高い精度で加工されており、重心バランスも良く医師の精密な操作が可能である。また持ちやすさのカーブ、滑り止めの突起などはなめらかで洗浄しやすくなっており、衛生面にも優れている。使い捨てず、長く使える道具で確実な治療を行う。それを実現させてくれるデザインである。

CEマーキング、高速シリアル通信等のセミナーを開催しました

担当：電子情報技術部

近年、製品販路のグローバル化や品質保証要求の高まりにより、製品を販売する際に様々な品質保証規格を満たすことが求められています。県内企業様からも品質保証規格の内容や適合宣言の方法についての相談が多く寄せられるようになりました。そこで電子情報技術部では、特に相談の多いCEマーキングや、高速シリアル通信技術などのセミナーを開催いたしました。

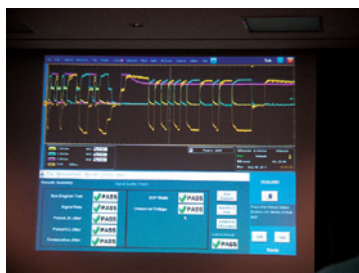
CEマーキングは、欧州統一市場へ輸出する製品について消費者安全・健康または環境に対する要求を満たすことを宣言するためのマーキングです。セミナーではCEマーキングの歴史的背景から具体的な要求事項、評価、宣言方法を事例とともに解説し、多くの開発者、品質担当者の方々に受講して頂きました。研修後のアンケートでは受講者全ての方々から「役に立った/やや役に立った」と評価されるとともに、「実際に適合宣言する際の参考になった」等のコメントを頂きました。また、多数の方々からULやPSE等、他の規格についてのセミナーを企画して欲しいとのご要望も頂きました。

高速シリアルIF基礎セミナーでは、シリアル通信の基礎のほか、USB2.0やPCI Expressのコンプライアンステスト方法を実際の測定器を使って詳しく解説しました。「製品開発の役に立つ」、「規格の概要や測定ポイントが分かりやすかった」等のコメントを頂きました。

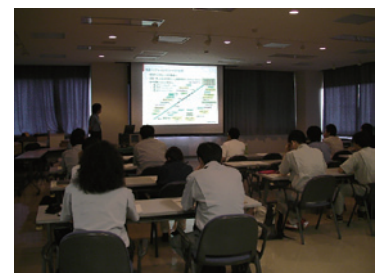
今後も電子情報技術部では、ご要望を踏まえながらEMC/電気製品規格に関するセミナーを随時企画し、県内企業様の製品開発力向上につなげていきたいと考えています。



測定器を使ったテスト法の解説



高速シリアル通信のテスト画面

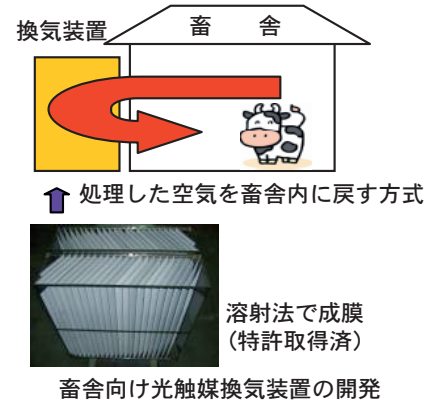


講義で規格の概要を学ぶ(高速シリアルIFセミナー)

空気清浄(脱臭・除菌)機能を有する畜舎用光触媒換気装置の開発と実用化

担当：ものづくり基盤技術第1部

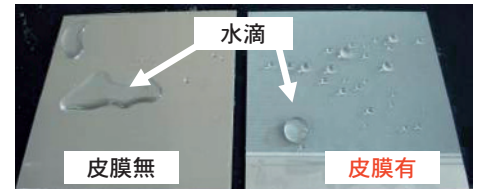
農水省「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」の採択(H23-25年度)
 現場ニーズ対応型研究(採択課題数:55課題/応募数:320課題)
 管理人:岩手県工業技術センター
 実施者:㈱釜石電機製作所、パワレックス㈱、岩手大学(農学部、人文社会科学部)、岩手県農業研究センター畜産研究所、岩手県中央農業改良普及センター
 開発テーマ:空気清浄(脱臭・除菌)機能を有する畜舎用光触媒換気装置の開発と実用化
 以下の開発目標達成をめざし、研究実施中です。
 1.装置価格300万円以下。メンテナンス容易。
 2.アンモニア分解速度2倍以上。
 3.飼育環境に応じた制御方法の確立。



高速粒子衝突を利用した有機固相離型・離反膜の実用化開発

担当：ものづくり基盤技術第1部

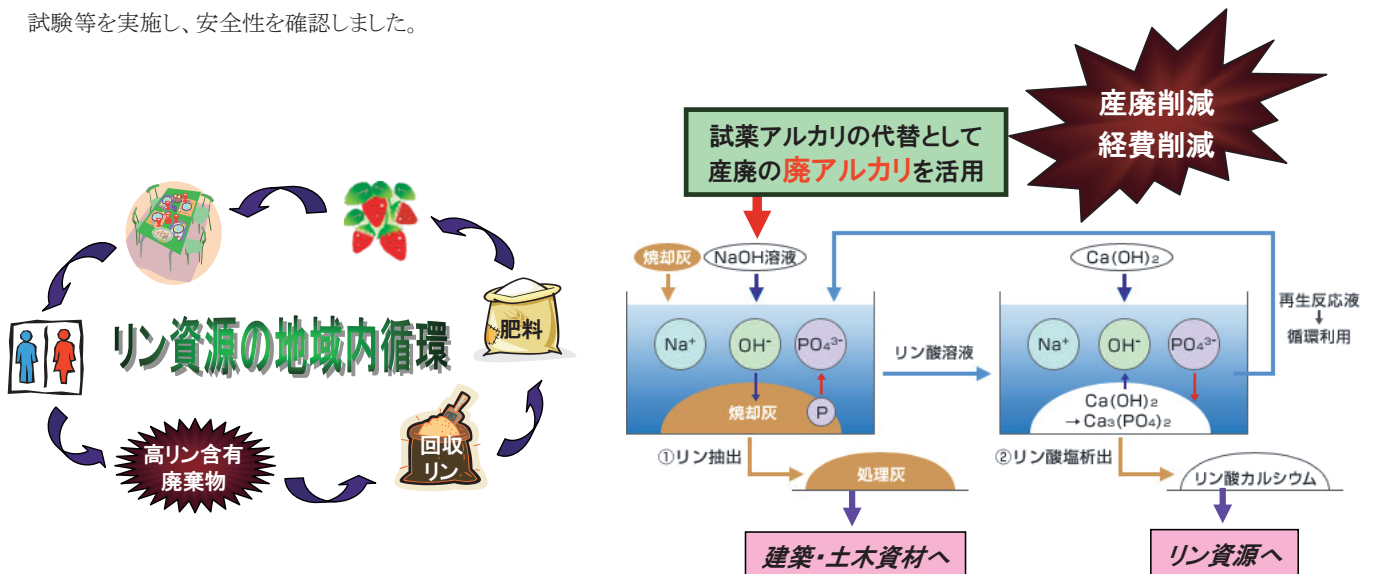
経産省「戦略的基盤技術高度化支援事業」の採択(H23-25年度)
 (全国)応募652件、採択120件、(東北)応募38件、採択9件
 管理人:岩手県工業技術センター
 実施者:㈱スペック、㈱東亜電化
 開発テーマ:高速粒子衝突を利用した有機固相離型・離反膜の実用化開発
 概要:自動車メーカー等では、発泡成形用金型へのプラスチック製品の張り付きや、塗装用治工具への塗料の堆積を防止するため人手による離型剤塗布などを行っており、生産性向上および品質安定の足かせとなっています。
 このため、これらの金型や治工具表面への離型・離反膜形成が求められています。本研究ではコールドスプレー法を用い簡便にフッ素樹脂膜を形成する方法、および膜除去・再処理技術について開発実施中です。



下水汚泥焼却灰等からのリン回収

担当：ものづくり基盤技術第2部

いわて発戦略的地産地消型リン資源循環システムの研究(H22~H24、環境省補助事業)に取り組んでいます。
 リン鉱石は日本では産出されず全量を輸入しているため、リン資源の安定的確保が困難な現状です。本研究は、地域で発生する高リン含有廃棄物からリンを回収し、リン資源の地域内循環を実現することを目的としています。既存のリン回収技術はコスト的に厳しいため、産廃の活用等でコストダウンを図りました。その結果、廃アルカリを用いたリン回収に成功しました。また、有害成分分析や植害試験等を実施し、安全性を確認しました。



リン循環システムのイメージ

開発したリン回収のながれ

カスタムフィット医療器械の開発

担当：ものづくり基盤技術第2部

近年、顕微鏡手術が進歩し、0.5mm以下の細血管の縫合手術が行われるようになっていきました。顕微鏡手術では、一層の微細技術(手技)が求められ、定型的な既製品では適合性が思わしくなく、大手医療器械メーカーと個別に専用器械を開発している医師もいます。つまり、手術用器械類は、医師の手の延長としてその技術的精度を飛躍的に高めるもので、手術の成否に大きく影響します。そこで、従来からある医療器械に対する問題点をヒアリングによって明確にし、医師の要望に応じた医療器械の試作開発を行っています。



市販化されたマイクロピンセット

オールいわて清酒の完成！

担当：食品醸造技術部

東日本大震災からの復興を願い、岩手県酒造組合と共同で「すべて岩手にこだわった清酒」の開発を行いました。岩手県は伝統ある南部杜氏の地元であり、県産ブランドの酒造好適米(吟ぎんが・ぎんおとめ)や清酒酵母(ゆうこの想い・ジョバンニの調べ)が既に開発されていますが、県オリジナルの麹菌はありませんでした。

そこで、株式会社秋田田野商店や独立行政法人酒類総合研究所の協力を得て、酵素活性や官能評価を指標にし、岩手県の米と酵母と相性が良い麹菌を選抜しました。さらに、南部杜氏が米麹の試作品を評価し、2つの麹菌をブレンドすることによりオリジナル麹菌が完成しました。

この麹菌は「黎明平泉」と達増知事が命名し、県内21の酒造メーカーに使用され、平成24年春から「オールいわて清酒」として販売されています。「オールいわて清酒」は優しい味のりとキレの良さが魅力で、原料米と清酒酵母の良いところを、上手に引き出しているのが「黎明平泉」で造った米麹です。



酵素活性の測定



米麹の試作



店頭に並ぶ「オールいわて清酒」

ヤマブドウまるごと利用したアンチエイジング素材の開発

担当：食品醸造技術部

ヤマブドウは果実をジュースやワイン、ジャム等に加工されていますが、残渣として排出される搾り粕や剪定時の葉・枝の有効利用を目的に、岩手大学、東京農工大学、ヤエガキ醸酵技研(株)、(株)幸本店、久慈地方ヤマブドウ振興協議会と共同研究を行いました。栽培から素材開発、商品展開に機能性評価と多岐にわたる研究の結果、葉はフラボノイド、枝はレスベラトロール素材としての可能性があることが分かりました。また、特に搾り粕抽出物に抗炎症作用、皮膚水分量改善効果などの機能性が期待されることが明らかになりました。

搾り粕抽出物は商品名「エヴィノール」として販売されているほか、菓子製造業者等に要望の高い果汁粉末も商品化されました。



受賞・表彰

- 第30回(平成23年度)スガウエザリング技術振興財団表彰 特別技術功労賞
「送電線鉄塔、橋梁等の延命化に関する研究」ものづくり基盤技術第1部 特命部長兼首席専門研究員 穴沢 靖
- 第7回(平成23年度)農林水産技術会議 若手農林水産研究者表彰 若手農林水産研究者賞
「湯通しフカメ・コンブの塩漬工程の効率化に関する研究」食品醸造技術部 主査専門研究員 小野寺宗伸
- (公社)日本鑄造工学会 論文賞および技術賞
「酸化鉄による鑄鉄溶湯からのマンガン除去」ものづくり基盤技術第2部 主任専門研究員 高川 貫仁
- (公社)日本鑄造工学会東北支部 井川賞
「Al-Si-Cu系合金溶湯の減圧凝固法を用いた溶湯品質の評価の検討」ものづくり基盤技術第2部 専門研究員 岩清水 康二

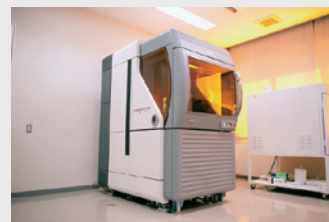
VI 新規導入設備

企画支援部

光造形装置 NRM-6000 (シーメット株式会社)

3次元CADなどで設計した製品形状を、簡便かつ迅速に、エポキシ製モデルとして立体化できるラピッドプロトタイピング装置です。モデルは従来機に比べ精密かつ強度も高いので、形状検討以外にも、機能検討、原型製作、治具製作などに使用できます。

【仕様】造形方式：光造形法／搭載レーザー：半導体励起固体レーザー 2.0W 120MHz／
走査方式：デジタルスキャナ方式 (TSS4)、ダイナミックフォーカス制御方式／最大
操作速度：40m/sec／レーザービーム径：可変方式／最大造形サイズ：610×610×500mm
／最小積層ピッチ：0.05mm／ヴェントリコーター／樹脂層：ユニット交換方式 (容
量約272L)／データ入力形式：STL形式、IGES形式 (一部制限あり)



財団法人 J K A 補助事業による導入設備

 競輪・オートレースの売上金は広く社会に貢献しています。

大判カラープリンター PX-H10000 (セイコーエプソン株式会社)

パネル、ポスター、看板等、A2寸以上の大判印刷が可能なインクジェットプリンターです。特色再現やパッケージプルーフに対応しており、紙器などのモックアップ制作などにも使用できます。

【仕様】最大用紙サイズ：B0プラス／インク：水性顔料インク10色 (+1)／RIP：EFI
eXpress for Proofing (PostScript3対応ソフトウェアRIP)／解像度 (最高)：2880dpi
×1440dpi／給紙方式：ロール、手差し／自動測色器装備

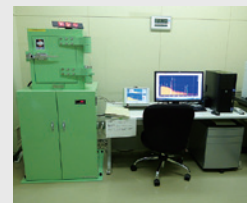


電子情報技術部

Ge半導体放射線スペクトロメトリシステム SEG-EMS (セイコーイージーアンドジー株式会社)

工業製品や加工食品中のセシウム137やカリウム40などのガンマ線放射核種の測定に使用するゲルマニウム (Ge) 半導体検出器を用いた放射能測定装置です。

【仕様】対象核種：セシウム-134、セシウム-137、カリウム-40など／試料形状：2リットル
マリネリ容器、U-8容器 (100cc)／エネルギー分解能：1.85eV以下 (コバルト-60
1.33MeVピークにて)



平成23年度施設整備費補助金による設備

シンチレーションサーベイメータ

TCS-362 (日立アロカメディカル株式会社)

ZnS(Ag)とプラスチックシンチレータを組み合わせた検出器を持ち、一回の測定でα線とβ線を分離して測定できるサーベイメータです。

【仕様】測定線種：アルファ線、ベータ (ガンマ) 線／測定レンジ：(計数率：0～999min-1、
1.00～9.99kmin-1、10.0～99.9kmin-1)／計数：0～999999counts)

TCS-172B (日立アロカメディカル株式会社)

エネルギー補償タイプのシンチレーションサーベイメータです。優れたエネルギー特性を持ち低エネルギー領域からのγ線測定が可能です。

【仕様】エネルギー範囲：(線量率：50keV～3MeV (3MeVカットなし)／計数率：50keV以上)
／測定範囲：(1cm線量当量率：バックグラウンド～30μSv/h)／計数率：0～30ks-1)



左：TCS-362 右：TCS-172B

スピコーター MS-A100 (ミカサ株式会社)

シリコンやガラス基板にフォトレジストをスピコートする装置です。

【仕様】ウェハサイズ：□10mm～最大φ4インチ／回転数：50～7500rpm



【お知らせ】岩手県工業技術センターでは平成24年7月1日から依頼試験・分析手数料と機器貸出料金を改定いたします。

ものづくり基盤技術第1部

超短パルスレーザ微細加工機 LPF-2 (株式会社ラステック)

サブピコ秒〜ピコ秒の超短パルスレーザで様々な材料へ溝加工、切断、マーキングなどの微細加工や表面改質を行うことができる装置です。

【仕様】レーザ中心波長：1,030 nm / パルス幅：260 fs ~ 10 ps 可変 / 最大出力：4 W (0.2mJ/pulse) / ステージ可動範囲：XY 200mm, Z 100mm / ガルバノ走査範囲：□40mm

平成23年度施設整備費補助金による設備



ガス腐食試験機 GH-180-M (株式会社山崎精機研究所)

腐食性ガス(亜硫酸ガス)を発生させ、塗膜やメッキ製品等の耐食性試験を行える装置です。

【仕様】腐食ガス：SO₂ / 槽内濃度範囲：1 ~ 25ppm / 槽内温度範囲：20 ~ 50±2℃ / 槽内湿度範囲：槽内25℃以上/75 ~ 95%RH 槽内40℃以上/60 ~ 95%RH




屋内外温度差劣化試験機 PLR-3KPD (エスペック株式会社)

材料の表裏面にそれぞれ任意の温湿度を与え、塗膜性能を評価する装置です。

【仕様】試験槽：500(W)×600(D)×1,000(H)mm 2槽 / 温度指示範囲：-45℃~+95℃ / 湿度指示範囲：0 ~ 100%RH / 時間指示範囲：0 ~ 999.59時間



財団法人 J K A 補助事業による導入設備

 競輪・オートレースの売上金は広く社会に貢献しています。

大型乾燥機 VTCW-2535-2T (株式会社いすゞ製作所)

塗膜などの乾燥を行う装置です。耐熱塗料の乾燥にも対応できます。

【仕様】試験槽：1,300(W)×1,500(D)×1,300(H)mm / 制御可能温度範囲：+40 ~ +320℃

平成23年度施設整備費補助金による設備



ものづくり基盤技術第2部

CNC同時5軸マシニングセンター HSC 55 linear (DMG社)

従来の3軸マシニングセンターでは加工が難しい、もしくは段取り替えが何度も必要となる複雑な形状を、一度の段取りで加工することが可能です。金型加工や部品加工において形状の複雑化及び低コスト化が進む中で、加工時間の短縮と加工精度の向上を目指した製品試作や加工方法の検討等にご利用いただけます。

【仕様】同時動作軸：5軸 / 主軸回転数：28000rpm / テーブル寸法：□400mm / 軸駆動方式：リニアモータ / 最大ワーク重量：200kg (※クレーン等はありません) / CAD/CAM：TOPCAM (コダマコーポレーション)

平成23年度施設整備費補助金による設備



食品醸造技術部

匂いセンサーシステム α Heracles/LHS2 (アルファ・モス・ジャパン社)

食品の匂いの官能検査結果の数値化、包装材の影響の検討、匂い成分の迅速定量等、匂いに関する簡易分析に役立ちます。

【仕様】GC/FID方式 / デュアルカラム分析(DB-5、DB-WAX) / ヘッドスペース or 液体分析が可

質量分析装置 3200QTRAP LC/MS/MSシステム (株式会社イービー・サイエックス)

食品等に含まれる微量成分の同定、定量、多成分の一斉分析等を行うときに用います。

【仕様】マスレンジ：5-1700 / ユニット分解能：0.7-0.8FWHH / イオンソース：ESI,APCI / LC部：ACQUITY UPLC (日本ウォーターズ株)

平成23年度施設整備費補助金による設備



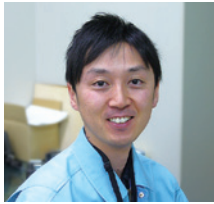
Ⅶ 新採用職員の紹介

電子情報技術部
 専門研究員 千田 麗誉



私の専門は電子回路で前職では電子回路の開発/設計業務に従事しておりました。電気関連のことでお困りのことがありましたら、是非御相談ください。よろしくお祈りいたします。

ものづくり基盤技術第1部
 専門研究員 村上 総一郎



有機物の分析、プラスチック材料に関する業務を担当します。3月までは、民間企業でフッ素材料の研究開発に携わっていました。専門分野は高分子化学、有機化学です。よろしくお祈りいたします。

定期人事異動情報

●転出(カッコ内は転出先)、退職

| | | |
|-----------------|--------|------------------|
| 理事兼経営統括部長 | 小澤 幸雄 | (県南広域振興局) |
| 総務部 主査 | 赤岩 正昭 | (保健福祉部医療推進課) |
| 主幹兼企画デザイン部長 | 小平 浩 | (県北広域振興局経営企画部) |
| 企画デザイン部 主任専門研究員 | 東矢 恭明 | (岩手県立産業技術短期大学校) |
| 企画デザイン部 主任専門研究員 | 山口 佑子 | (商工労働観光部産業経済交流課) |
| 環境技術部 専門研究員 | 佐藤 佳之 | (県土整備部下水環境課) |
| 食品醸造技術部 主査専門研究員 | 佐藤 美佳子 | (県南広域振興局農政部) |
| 副理事長兼技術支援統括部長 | 齋藤 博之 | 退職 |
| 理事兼企画統括部長 | 町田 俊一 | 退職 |
| 首席専門研究員兼環境技術部長 | 浪崎 安治 | 退職 |

●転入・採用(カッコ内は旧所属)

| | | |
|--------------------|--------|----------------------|
| 副理事長兼経営統括部長 | 小山 康文 | (秘書広報室) |
| 連携推進監 | 富手 壮一 | (商工労働観光部科学・ものづくり振興課) |
| 総務部 主査 | 菊地 教文 | (総務部予算調製課) |
| 企画支援部 上席専門研究員 | 笹島 正彦 | (県南広域振興局経営企画部) |
| 企画支援部 専門研究員 | 氏家 亨 | (岩手県立産業技術短期大学校) |
| 食品醸造技術部 上席専門研究員 | 伊藤 良仁 | (商工労働観光部産業経済交流課) |
| 食品醸造技術部 主査専門研究員 | 和賀 佳子 | (中央農業改良普及センター) |
| 電子情報技術部 専門研究員 | 千田 麗誉 | 新採用 |
| ものづくり基盤技術第1部 専門研究員 | 村上 総一郎 | 新採用 |
| 企画支援部 コーディネーター | 町田 俊一 | 再任用 |
| 企画支援部 コーディネーター | 浪崎 安治 | 再任用 |

Ⅷ 併設機関の紹介

岩手県知財総合支援窓口

「岩手県知財総合支援窓口」は、中小企業等が企業経営の中で抱えるアイデア段階から事業展開までの知的財産に関する悩みや課題を一元的に受け付け、知的財産に携わる様々な専門家や支援機関と共同してその場で解決を図るワンストップサービスを提供する事業(特許等取得活用支援事業)です。

○担当 知財総合支援アドバイザー 中嶋 孝弘
 佐藤 清子
 井旗 智子

岩手県知財総合支援窓口は、東北経済産業局の委託を受けて、岩手県工業技術センター、(一社)岩手県発明協会及び(財)いわて産業振興センターが共同で運営しています。

TEL 019-656-4114、019-636-0256
<http://www.pref.iwate.jp/~kiri/chiteki/new-tizai.html>

全国共通ナビダイヤル 0570-082100
 (全国どこからでも最寄りの知財総合支援窓口につながります。)

こんなときにご相談ください。

- 特許を出願したい
- 新商品が他社の権利を侵害しないか調べたい
- 経営に知的財産を活かしたい
- 他社の特許を使いたい
- 商標やデザインを登録したい
- 公報を閲覧したい
- 知的財産権や支援策について教えて欲しい

※ご要望があれば、貴社に出向いて相談・指導を行うことができます。(出張料無料)

(一社) 岩手県発明協会

TEL 019-634-0684

<http://www15.ocn.ne.jp/~hatumei/index.htm>

◆発明の奨励と青少年創造性開発育成、ものづくり人材育成支援を行っています。

- ・優れた発明やデザインなどを生み出した技術者、研究開発者や発明の指導、奨励に尽力された方を表彰します。
- ・岩手県発明くふう展を開催し、次世代を担う青少年の豊かな想像力の育成や科学技術・ものづくりの興味・関心を引き出す少年少女発明クラブ活動を支援しています。
- ・ものづくりに関わる知的財産権について、学生・生徒・児童を対象に授業を行います。



岩手県発明くふう展 (一般公開日)

◆知財総合支援窓口を開設しています。

(岩手県工業技術センターといわて産業振興センターとの共同運営)

- ・弁理士の駐在日を設け、高度な相談にも対応します。
- ・知財専門家による企業訪問型相談を行います。(直接弁理士等が中小企業様を訪問して相談を承ります。)
- ・共同利用端末機により、どなたでもインターネット出願をすることができます。



少年少女発明クラブ交流会

※上記の詳細につきましては、岩手県発明協会までお問い合わせください。

※岩手県発明協会は、会員の皆様にご支援いただき活動しております。ご入会については随時承ります。



平成24年 6月発行
 編集/発行
 地方独立行政法人
 岩手県工業技術センター
 企画支援部

技術情報 No.30(通し番号 No.142)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田3-35-2
 TEL 019-635-1115(代) FAX 019-635-0311
 ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/~kiri/>
 電子メール CD0002@pref.iwate.jp